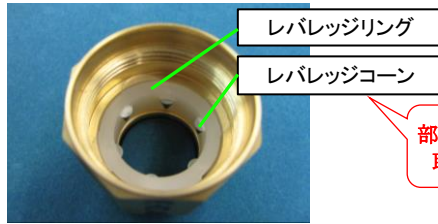
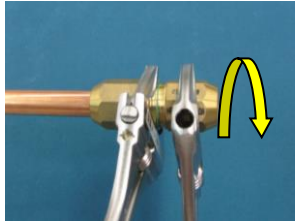


おっぞんくんBテストプラグ 施工要領書

1. ナットの取り外し

- ① 工具を用いて継手からナットを外して下さい。
注) 継手やナットにゴミ、ホコリ、糸くず状の金属片が無い様に注意して下さい。
- ② 外したナットはゴミやホコリが付着しない環境下で保管して下さい。

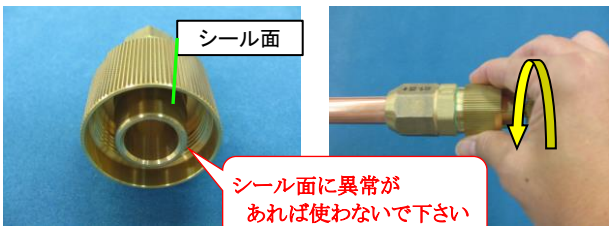


部材はナットから取り出さないで下さい

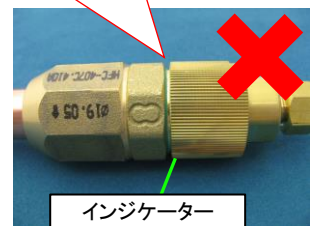
2. テストプラグの確認、取り付け

- ① テストプラグのシール面に傷やゴミ、ホコリ付着の異常が無いか確認して下さい。
- ② 緑色のインジケーターが見えなくなるまで継手にテストプラグを手締めして下さい。

締込不足は検査時にスゴバ抜ける危険があります



シール面に異常があれば使わないで下さい



インジケーター

3. 気密試験

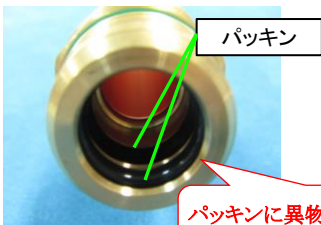
- ・使用される機器メーカーの施工・管理マニュアルに基づき実施して下さい。
- 注) フレア口のサイズは2分 (φ6.35mm) です。**
- 注) テストプラグは気密試験専用品です。恒久的な使用は出来ません。**

4. テストプラグの取り外し

- ・配管内の圧力を抜いた後、継手からテストプラグを取り外して下さい。

5. ナットの取り付け

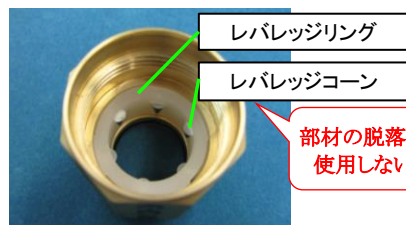
- ・継手や外したナットのパッキンにゴミ、ホコリの付着が無いか確認して下さい。
- ・ナットから部材の脱落が無いか確認して下さい。



パッキンに異物の付着があれば除去して下さい

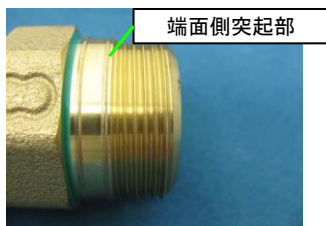


パッキン



部材の脱落した継手は使用しないで下さい

- ・外したナットの端面が、継手の端面側突起部に届くまでナットを手締めして下さい。
- ・ナットの締め過ぎは銅管の挿入が困難になったり、無理に挿入した場合は銅管に傷が付き漏れに繋がります。



端面側突起部



ナットはスタートポジションより過剰に締め込まないで下さい

6. 標準施工

- ・おっぞんくんBの施工要領書に従い、①管保温材の切除 から順に実施して下さい。